

安全訓練(防犯)を実施

発行：新見市立萬歳小学校

7月3日、不審者侵入を想定した避難訓練と不審者からの声かけ（登下校時）を想定した通報訓練を行いました。

この安全訓練は毎年行っているもので、学校へ不審者が侵入した時に安全で迅速な行動がとれるように、また、登下校中などで身の危険が迫った時に自分の身を守る行動がとれるようにするものです。

当日は、お忙しい中、新見警察署の兒玉さん、野村さん、本郷駐在所の坪井さんにお越しいただき、子どもたちはもちろん、教職員に対してもしっかりと指導していただきました。



不審者侵入を想定した避難では、不審者（兒玉さん）へ教職員が対応するあいだに、子どもたちは速やかに避難場所へ移動しました。この中で、「110番通報」（訓練用）も実際に行いました。その後、県警本部からの連絡を受けた坪井さんが現場に駆けつけて、不審者の身柄を確保しました。

また、不審者からの声かけを想定した通報訓練では、不審者（兒玉さん）が通学班（4班）ごとに違ったパターンの声かけを行い、その後、子どもたちがこども110番の家（野村さん）へ助けを求め、犯人の特徴、服装、車のナンバーなどを思い出して連絡しました。

訓練後の講評では、警察の方々から「イカのおすし」（イカない、のらない、おおきな声で叫ぶ、すぐにげる、しらせる）の確認をはじめ、どのような心構えで、どう行動すれば良いのかお話がありました。



本校では、「いざという時に備える」ために、「自分の命を守る」ために、様々な訓練を行っており、安全・安心な学校づくりをめざしています。今後とも、ご家庭や地域の方々のご協力をよろしくお願い致します。